

地域密着型金融推進計画の取組状況

－ 令和2年4月 ～ 令和5年3月 －

(令和3年3月現在)

令和3年8月25日

 瀬戸信用金庫

I. 当金庫の地域密着型金融推進計画（令和2年度～令和4年度）

1. 基本方針

- （1）当金庫は、地域経済の活性化や健全な発展のために、地域の中小企業等への経営サポートをはじめとして、積極的に、地域密着型金融の推進を図ります。
- （2）当金庫は、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

2. 具体的な取組み項目

① お客さまへのコンサルティング機能の発揮

- 創業・新事業支援
- 経営改善支援・事業再生支援
- 人材育成
- 成長支援
- 事業承継支援

② 地域の面的再生への積極的な参画

- 地域活性化に資する取組み
- 地域社会への貢献

③ 地域やお客さまへの積極的な情報発信

- 地域密着型金融の取組み状況
- 地域に対する情報発信の充実
- 各種セミナー・相談会の充実

Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

1. お客さまへのコンサルティング機能の発揮

創業・新事業支援

■ 「Zoomで学ぶ！起業のはじめ方セミナー」の開催

瀬戸市・瀬戸商工会議所と連携し、起業に必要な知識の習得を通してビジネスプランの作成や事業のブラッシュアップに繋げることを目的として、「Zoomで学ぶ！起業のはじめ方セミナー」を開催しました。

(基礎編：令和2年7月～9月 計5回)

(実践編：令和2年12月～令和3年2月 計5回)



■ 「尾張旭市創業セミナー」の開催

創業希望者や創業5年未満の方を対象に、尾張旭市、尾張旭市商工会、日本政策金融公庫との共催により、「尾張旭市創業セミナー」を開催しました。

(令和2年9月～10月 計5回)



■ ものづくり補助金などの活用支援

「ものづくり補助金」や「名古屋市スタートアップ企業支援補助金」などの中小企業支援施策の活用支援を行いました。

Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

成長支援

■ 外部専門家と連携した支援

中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を目的に、ミラサポ専門家派遣制度などを活用し、販路拡大、IT活用などの課題解決支援を行いました。

■ 信金中央金庫名古屋支店「東海地区日本酒カタログ（web版）」

東海4県下の信用金庫取引先の日本酒や酒器を紹介する「東海地区日本酒カタログ（web版）」へ酒器のPR動画やネットショップ情報の掲載案内を行いました。

（東海地区日本酒カタログURL：https://bz.airlibro.jp/book/view_html5.php?id=440）

経営改善・事業再生支援

■ 株式会社商工組合中央金庫と「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」を締結

取引先中小企業の経営改善計画や事業再生計画の策定支援、経営改善計画の実行への協調支援などを目的に業務協力契約を締結（令和2年12月30日、信用金庫では全国初）するとともに、協調して地元中小企業に対し、「せとしん資本性ローン」※を取組みました。

※「せとしん資本性ローン」

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業績が悪化した中小企業に対し、毀損した資本の強化を図るとともに、長期安定した資金の調達により、急激な経営環境の変化に対応していただくことを目的とした商品。

■ 経営改善計画書策定支援

中小企業庁「経営改善計画策定支援事業」「早期経営改善計画書策定支援事業」を活用し、取引先企業の経営改善計画書の策定を支援しました。

Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

事業承継支援

■ 事業承継セミナーの開催

瀬戸市、瀬戸商工会議所、愛知県信用保証協会、日本政策金融公庫との共催により、「戦国武将から学ぶ事業承継」と題し、中小企業経営者や承継予定者を対象に「事業承継セミナー」を開催しました。（令和3年2月16日）



■ 外部専門家と連携した支援

あいち産業振興機構「あいち事業承継ネットワーク」に参加し、事業承継診断の実施や事業承継ネットワークコーディネーターなどの専門家と連携し、事業承継支援を実施しました。

人材育成

■ 事業性評価、経営改善支援能力の向上

新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修を休止する中、通信講座「ウィズコロナ／アフターコロナの経営改善支援実践コース」を支店長、次長、渉外・融資役席を対象に実施しました。また、設備投資実施先へ経営サポートグループ職員同行のもと、営業店職員による工場見学を行いました。

Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地域活性化に資する取組み

■ moyai workshop 2020の開催

日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生プロジェクトの取組として、瀬戸市内で活動するツクリテ6名が講師となり、陶磁器や切子等のものづくり体験を行うワークショップを瀬戸市銀座通り商店街の「Cafe&Guesthouse もやいや」にて開催しました。若手ツクリテのしごとづくりに取組み、瀬戸で技術を学んだツクリテの定着を目指します。



■ 尾張旭市「地域の魅力商品創出事業『旭色』」へ協力

コロナ禍における尾張旭市内の飲食関係事業者の支援策として、同市の特産品である「紅茶」や「いちじく」を使った新商品・新メニューの開発を行う「地域の魅力商品創出事業『旭色』」に協力しました。



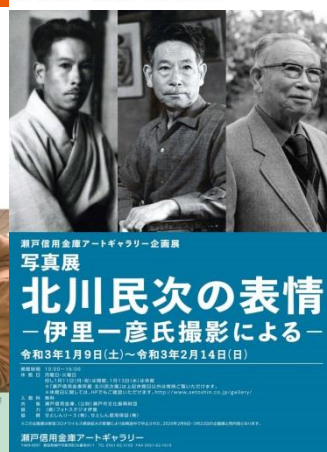
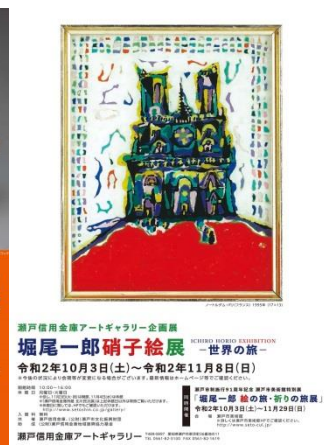
Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

■ 瀬戸信用金庫アートギャラリーを通じた地域の魅力発信

当金庫日本町支店跡地を活用し、「瀬戸信用金庫アートギャラリー」として令和元年に開館した施設です。当金庫が長年にわたり所有・収集した北川民次画伯の作品や地域の陶芸作品の常設展示のほか、企画展を開催しています。

瀬戸の優れた文化、芸術を発信しています

- ・ 開館時間：10：00～16：00
- ・ 休館日：月曜日・火曜日（祝日の場合は翌営業日）
年未年始（12月28日～1月5日）
- ・ 入館料：無料
- ・ 住所：愛知県瀬戸市東茨町36番地の11
- ・ 電話番号：0561-82-3100



Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

地域社会への貢献

■ (公財) 瀬戸信用金庫地域振興協力基金による助成

地域社会の活性化のため、平成5年度より、瀬戸市、尾張旭市、長久手市、豊田市藤岡地区・小原地区、春日井市の地方公共団体等と連携して助成事業を行っています。令和2年度は23件909万円を助成し、累計助成実績は、773件、4億3,558万円となっています。

■ すみれの苗の寄贈

地域社会の未来を担う園児・学童の情操教育に寄与するため、当金庫のシンボルフラワー「すみれ」の苗を、昭和38年より営業地域の小学校・幼稚園・保育園などに寄贈しており、令和3年3月に61回目の寄贈を実施しました。(令和2年度寄贈先数：237先)



■ 藤井二冠お祝い花火の打ち上げ

瀬戸市出身の藤井聡太棋士の二冠獲得を祝うとともに、新型コロナウイルスの早期収束、医療関係者への感謝をあらわすため、瀬戸将棋文化振興協会、瀬戸商工会議所、瀬戸市と協力して花火を打ち上げました。

(令和2年10月1日)



Ⅱ. 令和2年度の主な取組実績

3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

地域に対する情報発信の充実

■ LINEによる当金庫や地域情報の発信

当金庫の取組や地域のイベントなどの情報をLINEを通じて、ともだち登録をしていただいた方へ発信しています。



各種セミナー・相談会の充実

■ 資産運用セミナーの開催

「世界の経済環境とマーケット展望」（講師：三井住友DSアセットマネジメント(株)）、「ライフプランセミナー」（講師：フコクしんらい生命保険(株)）、「iDeCoセミナー」（講師：当金庫個人営業グループ）を開催し、お客様の安定した資産形成に向けた情報提供を行いました。

■ 各種相談会の実施

定期的に税理士による「税務相談」を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、相談対応内容を拡充し、雇用調整助成金や持続化給付金などの労務関係相談へも対応しました。

その他、三井住友信託銀行との共催による「相続・遺言無料個別相談会」、各支店での「年金相談会」などを実施しました。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

当金庫では、

- ・「お客さまへのコンサルティング機能の発揮」
- ・「地域の面的再生への積極的な参画」
- ・「地域やお客さまへの積極的な情報発信」

の3つを取組方針とし、地域密着型金融を推進しております。

こうした中、金融庁から、金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」（以下、ベンチマーク）」が公表されています。

金融機関は、このベンチマークの活用により金融仲介機能の質を高め、お客さまのニーズや課題に適切にお応えし、お客さまの企業価値の向上や生産性向上への支援を充実させることで、地域経済の持続的な成長に貢献することが期待されています。

当金庫は、令和2年3月末基準のベンチマーク（共通項目）の実績を公表するとともに、このベンチマークとともに、従来からの地域密着型金融の取り組みを継続することで、一層、地域活性化に向けた金融仲介機能の発揮に努めてまいります。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

（1）取引先企業の経営改善や成長力の強化

－当金庫がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先－

（単位：先）

	31/3期	2/3期	3/3期
メイン先数	5,837	5,966	6,924
内、経営指標等が改善した先数	3,953	4,031	4,266

（単位：億円）

	31/3期	2/3期	3/3期
メイン先の融資残高	3,152	3,308	3,992
内、経営指標等が改善した先に係る事業年度末の融資残高の推移	2,395	2,482	2,654

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

（２）取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

①当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

（単位：先）

	31/3期	2/3期	3/3期
条件変更先 総数	874	782	686
内、好調先	76	63	53
内、順調先	396	316	247
内、不調先	402	403	386

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

金融仲介機能のベンチマーク（共通項目）

②当金庫が関与した創業、第二創業の件数

（単位：件）

	31/3期	2/3期	3/3期
創業件数	733	746	1,268
第二創業件数	0	0	0

※当金庫が関与した創業、第二創業の件数とは、創業計画の策定支援、創業期取引先への融資等による支援を実施した件数としております。

※第二創業とは、既に事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること、抜本的な事業再生によって企業が業種を変えて再建すること等としております。

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

③ライフステージ別の与信先数（単体ベース）および融資残高

（単位：与信先数：先／融資残高：億円）

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
31/3期						
与信先数	12,835	1,254	715	9,487	424	955
融資残高	5,193	225	329	3,927	124	586
2/3期						
与信先数	13,057	1,296	828	9,653	418	862
融資残高	5,420	232	503	3,975	160	548
3/3期						
与信先数	14,132	1,525	857	10,395	592	763
融資残高	6,261	346	420	4,768	208	517

Ⅲ. 金融仲介機能のベンチマークについて

(3) 担保・保証依存の融資姿勢からの転換

当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高、及び、全与信先数及び融資残高に占める割合

	31/3期	2/3期	3/3期
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数	333先	354先	274先
全与信先数に占める割合	2.6%	2.7%	1.9%
事業性評価に基づく融資を行っている 融資残高	27億円	26億円	18億円
当該与信先の融資残高に占める割合	0.5%	0.5%	0.3%